

街中だがしや楽校

まちなか

がっこう

2017 in ぬまづ

2017.3.5 沼津仲見世商店街・沼津新仲見世商店街
主催:街中だがしや楽校 in ぬまづ実行委員会



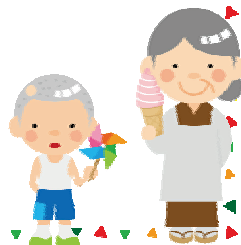
だがしや楽校ってなに？

むかしはどこのまちにも駄菓子屋がありました。子供は家でお手伝いをして得たお駄賃を手に握りしめて駄菓子屋に行き、思い思いのお菓子やおもちゃを買い、お店の人とふれ合いながらお金の使い方を身につけていきました。そこは学校では教えてくれないことを学べる、子ども達の貴重な学びの場でした。「街中だがしや楽校」では、そのような環境を街中に再現し、かつてあったような子ども達の遊び、学び、交流の場を作ります。近隣では三島市でも開催しております。



だがしや楽校の目的は？

- 青少年育成の側面と中心市街地活性化の側面があります。
- 商品の価値や働くことの意義・楽しさ・大変さを実感させ、子ども達の創造性や生きる力を育む
- 地域の大人達に子ども達を見守りながら指導してもらい、地域の教育力向上に寄与する
- 商店街が新たな客層を獲得する契機とし、中心市街地の今後の活性化につなげる



1.仕事をさがす

「キッズハローワーク」にずらりと並んだ求人票。当初は「人手がない」「子どもができる仕事がない」と協力店舗募集は困難でしたが、各店ごとに仕事内容を工夫し、28店舗の協力を得ました。



小さな子どもでもできる仕事も用意しました



求人票を持ってお店に行きます



当日配布チラシにはルールと協力店舗を掲載。

2.実店舗やワークショップで体験

売れない苦労も味わいながらも、元気よく声を出す、遠くまで売り歩く、付き添いの保護者に売るなど、自主的に工夫している子どももあり、ひたむきな姿に感銘を受ける店主も多くいました。



飛びっきりの笑顔で接客中



「ご試食いかがですか？」



沼津銘菓も販売します



お店の人と袋詰め



子育てサークルさんをお手伝い



ホースが意外と重い！



高齢者の方による昔遊び体験



大工さんが教えるのこぎりの使い方



着物屋さんで染め物体験

3.ステージのお仕事

キッズダンスやよさこいを上演するステージの運営もお仕事です。



堂々と司会を務めます



鳴子の鳴らし方も教わりました



ステージも盛況！拍手喝采！！

4.お給料(ぬまづダラ)をもらう

各店でのお仕事終了時、だがしや楽校だけで使える仮想通貨「ぬまづダラ」をもらいます。



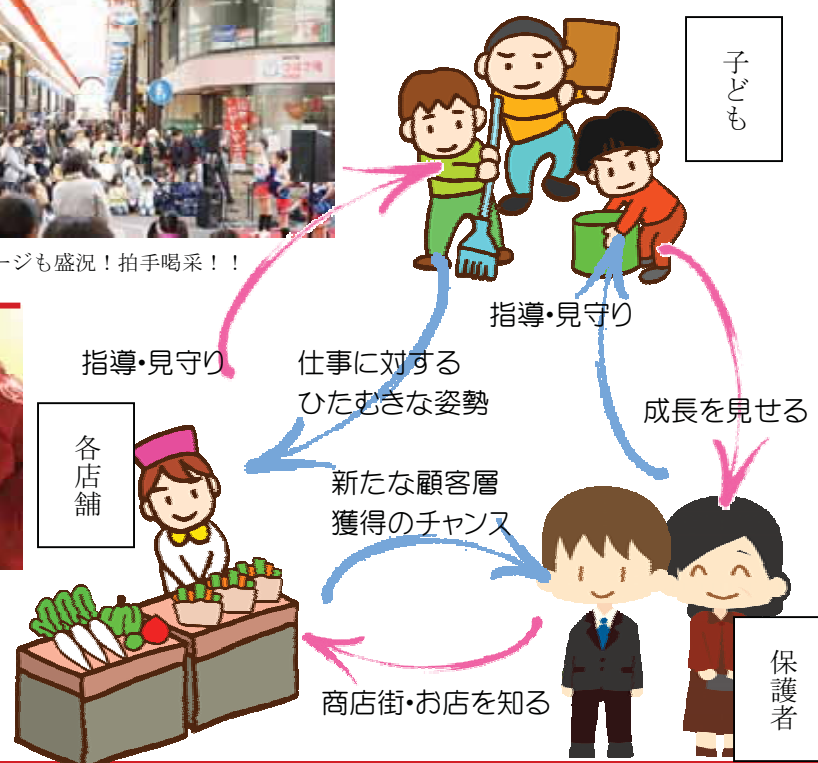
5.好きな駄菓子を買う



給料をもらったら「だがしやマーケット」へGO！

6.商店街も大賑わい

付き添いの保護者を含めて3,000人ほどの来街者。オープンな場所なので一般の方からもアドバイスや励ましの声をいただきました。



街中だがしや楽校

2018年3月4日
に開催！

協賛者様・出店者様募集中 くわしくは.....

事務局（井草雅彦：090-9365-3238）まで